

27年3月議会

万博記念公園周辺開発に伴う公共交通施策について

質問

次に、2月にエキスポランド跡地に建設中のエンターテインメント施設の大規模小売店舗立地法の申請に関する説明会があったので、参加してまいりました。

そこで周辺住民の方々の意見をたくさん伺うことができたのですが、最も危惧されていたのは周辺道路の混雑の問題でした。それに対し、事業者の方は乗用車で来場者数を減らすよう努力する、公共交通の利用促進を図るとのお答えをされていました。

エキスポ跡地の商業施設やガンバ大阪新スタジアム完成に伴い発生する可能性の高い道路混雑解消のため、市も公共交通の利用促進に協力すべきと考えますが、対応策をお聞かせください。また、まち産業活性部は万博周辺のにぎわいを吹田市全域にということをおっしゃっていましたが、そのための具体的な施策展開についてお聞かせください。

石橋泰典道路公園部長

万博記念公園南側の開発につきましては、(仮称)吹田市立スタジアム建設事業と(仮称)エキスポランド跡地複合施設開発事業の大きな二つの開発事業がございます。

まず、(仮称)吹田市立スタジアムにつきましては、最大来場者数が1日約4万500人、そのうち公共交通を利用して来場する方が約2万8,300人と予想されております。

また、もう一つの事業であります(仮称)エキスポランド跡地複合施設は、年間来場者数約1,700万人、休日1日当たり約6万6,000人、そのうち公共交通を利用して来場する方が約1万3,860人と予想されております。

現在、この地区にアクセスしている公共交通はモノレールと路線バスであります。現在のサービス水準では、これらの新しい二つの大型施設への公共交通利用者を処理できないため、それぞれの事業者が、モノレール及びバスの増便と新規バス路線の運行を公共交通事業者と協議を行っているところでございます。

また、公共交通の利用を促進するために、公共交通利用者への割引や特典の付与などを実施する計画であると伺っております。

今後、両施設がオープンいたします平成27年度(2015年度)の秋ごろまでには、それぞれの協議が整い、具体的な対策内容が示されるものと考えております。

本市の公共交通の活性化施策といたしましては、平成21年度(2009年度)に市民、学識経験者及び関係公共交通事業者などを委員とした吹田市地域公共交通活性化協議会を設置をし、平成22年(2010年)3月には、吹田市域における公共交通の利便性の向上、効率的、効果的な交通サービスの提供を目的として、吹田市地域公共交通総合連携計画を策定いたしました。

現在、計画に基づき作成いたしました市全域の鉄道や路線バスなどの公共交通の路線情報

などを掲載した吹田市公共交通マップを市内転入者や主な施設で配布することなどにより、公共交通の利用促進を進めているところでございます。

以上でございます。

中江理晶まち産業活性部長

万博公園南側エリアには、(仮称)エキスポランド跡地複合施設及び(仮称)吹田市立スタジアムといった集客力の高い施設の建設が進められており、一大集客エリアとなりますことから、本市の観光施策を進める上で、またとない好機と捉えております。

同エリアに移転させる観光センターを拠点とした市内回遊を促進するための具体的な方策について、吹田にぎわい観光協会、吹田まち案内人及び大阪府万博公園事務所等と協議を重ねております。本市の特性やまちの歴史などをパネルの展示やイベント広場の活用によって紹介するほか、吹田ブランド商品の開発、販売や市内事業所の魅力ある製品を展示する企業展示コーナーの設置等を通じ、市内の魅力スポットや商店街等への誘導を図ってまいります。

また、バス事業者並びにガンバ大阪、三井不動産に対しまして、同エリアと市内各鉄道駅を結ぶバス路線の設置について要望いたしております。

今後も吹田にぎわい観光協会を初め各種団体と協働し、移転後の観光センターを拠点として、万博周辺のにぎわいが市内に広がる観光施策の実現に取り組んでまいります。

以上でございます。

質問

この公共交通の促進の問題と、あえてまち産に振ったのは、これを重ねていろいろ施策展開すれば、私は、いまいちまだイメージが湧かないんですけども、まち産がおっしゃるような市内全域に、万博周辺のにぎわいの広がりがっていうことができるのかなと思うんですよ。いまいち具体的なイメージが湧かないですよ。まち産業活性部長、もうちょっとね、例えば江坂であるとか、J R吹田であるとかというものと、その万博周辺をつなげるための具体的な施策ってどんながあるんでしょうか。ちょっとイメージできるように御説明願えますか。

中江理晶まち産業活性部長

具体的な江坂あるいはJ R吹田といった本市の商業集積地への誘導策ということでございますけれども、一つには、まず、観光センターのほうにですね、来場者がたくさん来てただかないことには、いかにそういう市の魅力をアピールしようにも、来場者がなければアピールができないというふうに考えてございますので、その一つには立地が万博エリア、万博の跡地にできるということがございますので、一つ、万博の例えば太陽の塔とか、そういうものに親しんでいただけるような、そういった特化した展示コーナーみたいなも

のをつくることによって誘導をしていきたいというふうに考えてございます。

江坂にはダスキンの本社ビルに、みつめあう愛という岡本太郎先生のですね、作品がありますし、その向かい側にはレストランのシンボルになっておりましたリオちゃんという、岡本太郎さんのデザインされた展示物もございますので、そういったところとのつながりを一つは出していきたいというふうに考えてございますし、もう一つは、それぞれ、例えばJR吹田ですと、大きな商店街がございまして、こちらの商店街自体がいろいろと工夫をしていただいて、公共交通、例えばバスなんかで利用されて、そのバスを利用されたことが証明できるようなものがあれば、何か特典なり割引をすとか、そういったことをいろいろ仕組みを考えながら、行政と事業者、商業者とですね、いろいろと連携をしながら、市内への誘導を図っていきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。